

第4期ビジティング・リサーチャー論博プログラム (奨学金付き)が決定しました！

アジアの人材育成を目指す淑徳大学の取組みへの期待が世界に広がっています

4月1日に募集を開始したビジティング・リサーチャー論博プログラム(奨学金付き)の第4期となる2019年度は、アジアのみならずアフリカからも高い関心が寄せられ、国際ソーシャルワーク、仏教ソーシャルワークの領域の募集に対し、過去最高の10名の応募者がありました。

実に多彩なテーマを持つ応募者たちの中から、研究及び執筆計画や学位取得後の社会への貢献、本国の人材育成へのインパクト等慎重かつ公平な審査のうえ、スリランカ仏教パーリ語大学仏教文化学部専任講師オマルペ・ソマナンダ師(Ven. Omalpe Somananda)が選ばれました。論文タイトルは「仏教ソーシャルワーク教育開発のための仏教教義の適用可能性に関する分析調査(原題: An analytical study on applicability of teaching in Buddhism for the development of Buddhist Social Work education)」です。

ソマナンダ師の専門は仏教哲学とソーシャルワークです。インドの大学でソーシャルワークの修士号を修めた後、ソーシャルワーク専門職教育機関であるスリランカ国立社会開発大学(NISD)でソーシャルワーカー育成にもかかわってきました。ソマナンダ師は10月に来日、2年間の滞在予定です。どうぞよろしくお願いいたします。